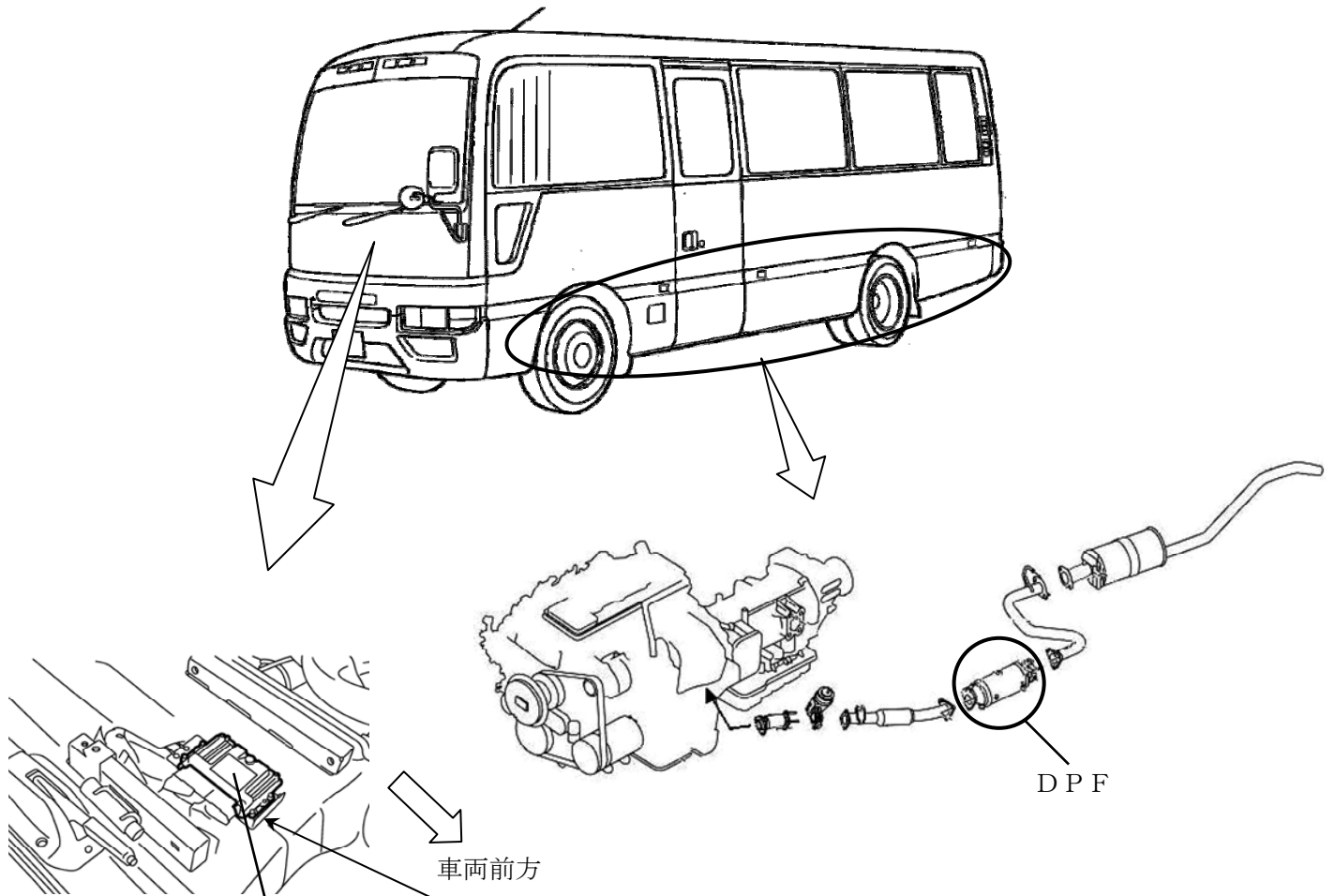


改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

DPF（ディーゼル粒子状物質除去装置）付き車の原動機制御コンピュータにおいて、

- ① 自動再生（捕集した粒子状物質の燃焼除去）の作動条件が不適切なため、極低速や極短距離の走行において、自動再生が頻繁に行なわれるおそれがある。そのため、余剰な燃料がエンジンオイルに混入し、エンジンオイル量が規定量を超えた状態で使用を続けると、吸気経路にエンジンオイルが混入して白煙が発生し、エンジンの回転が上昇することがあり、最悪の場合、エンストして再始動できなくなるおそれがある。
- ② 暖房促進時のアイドル回転数が不適切なため、黒煙が発生してPM（粒子状物質）が多量に堆積するものがある。そのため、エンジンが不調となり、最悪の場合、エンストして再始動できなくなるおそれがある。

原動機制御コンピュータ

（運転者席下）

改善の内容

全車両、当該制御コンピュータのプログラムを修正するとともに、エンジンオイルを新品に交換する。

識別：銀色のシールをモデルナンバープレートの右横に貼り付ける。

注： は、修正する部品を示す。